

アジアの知的リーダー「同窓会」

13カ国44人福岡入り

聖福寺で日本文化を体験



聖福寺で茶会を体験するアジア各国の学者やジャーナリストたち

国際交流基金(東京)と国際文化会館(同)の「アジア・リーダーシップ・フォーラム」が二十六日、福岡市で始まり、同市博多区にこれまで招待されたアジア十三カ国の知的

リーダー四十四人が一堂に会する「同窓会(リユニオン)」が二十六日、福岡市で始まり、同市博多区にこれまで招待されたアジア十三カ国の知的

体験した。一行は三十日まで同市と韓国・釜山市に滞在し「共同体としてのアジア」などをテーマに研究発表し、議論を深める。

同プログラムは一九九六年に始まり、学者やジャーナリストらアジアの若い知的リーダー数人を毎年日本に招き、アジアが抱える問題を議論し、交流を深めている。今年はこのままでの全招待者が、国を超えた交流が進む福岡、釜山両市に集まり、人的ネットワークを強化することにした。

二十六日に福岡市入りした一行は市内三カ所に分かれて視察。聖福寺では着物の着付けや茶会、座禅などを体験した。フ

ィットの新聞記者、キンリー・ドーンさん(同)は

「アジアは多様だが、仏多い。議論の参考になっ教や禅など共通のものも」と話していた。

山笠の伝統照らす：

提灯作り 急ピッチ

博多区の専門店

博多祇園山笠(七月一で、山笠に欠かせない提日一十五日)の開幕を間近に控え、福岡市博多区上川端町の「門田提灯店」

山笠の提灯は、七流の

同店三代目の門田敏郎さん(モミは二〇〇一年に



各町の詰め所前や、隊列の先頭などに掲げられる。古くなったり、破れたりした提灯を新調するため、七月一日の「お汐井取り」に参加する各流の当番町をはじめ、各町からの注文が相次ぎ、今年は二百個ほど作

大黒流の総務を務めると自身も深く山笠に

代金の支払いが終わったが、ほとんど利用していないのに会費の支払いは

九時(午後五時) 110(92781)0999

